

人権センター 図書だより



Vol.27 令和4年6月1日発行

発行：四日市市人権センター
TEL.354-8609 FAX.354-8611
jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

「よっかいち人権大学あすてっぷ 2022」 今年も開講します。

6月11日(土)開講式/記念映画「大コメ騒動」から10月22日(土)までの全7講座です。各講座に関連した図書も入荷していますので、あすてっぷ受講生の人も、そうでない人も、さまざまな人権に触れる機会として、読書をお楽しみください。

図書は1回に5冊まで、2週間借りることができます。直接人権センターへお越しいただくか、お電話でお問い合わせください。



「よっかいち人権大学あすてっぷ 2022」 講座一覧

① 6/11	開講式 / 記念映画 映画「大コメ騒動」 申込終了 映画解説：四日市市男女共同参画審議会 会長 松井 真理子さん
② 7/2	アクティブシニアに必要なこと ～高齢者が活躍する社会に向けて～ 講師：ユマニテク短期大学 幼児保育学科 准教授 田村 禎章さん
③ 7/30	映画「一人になる 医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策」 映画メッセージ：ハンセン病市民学会共同代表・事務局長 訓覇 浩さん 「ハンセン病問題の全面解決に向けて 隔離に抗した医師・小笠原登の願いに向き合う」
④ 8/27	メディアとの上手なつきあい方 ～コロナ禍のインフォデミック（情報の氾濫）を考える～ 講師：中央大学文学部教授 松田 美佐さん
⑤ 9/24	映画「心の傷を癒すということ 劇場版」 公開講座 映画メッセージ：四日市看護医療大学 看護医療学部 看護学科 講師 小寺 直美さん 「災害時のこころ ～それぞれの立場から～」
⑥ 10/8	「居場所」の意味を考える ～分断と孤立を乗り越えて～ 子ども、高齢者など、さまざまな「居場所」の実例も紹介 企画：公益財団法人 ささえあいのまち創造基金
⑦ 10/22	働き続けるために ～就労支援・定着支援と精神科クリニックの連携～ 講師：医療法人 福智会 就労移行支援事業所 定着支援事業所くねる 小山 愛さん

ころんでも、立ち上がろう！

『老いの福袋 あっぱれ！ころばぬ先の知恵 88』

(H-58 樋口恵子 著 中央公論新社)

あすてっぷ第2回講座は、高齢者の人権がテーマです。人生100年時代といわれる長寿社会は、平和が続かなければやってきません。「今、様々な壁はありながらも安全にもの言える社会です。この幸せを次の世代に引き継ぐ責任、より良い社会を創造する責任がある」と著者は記します。そんな88歳の著者の伝える88の知恵。「老後」は「問題」でなく「当たり前のこと」として未来を明るく照らそう、老年よ、大志を抱け！

ジェンダー 性差の歴史は驚きと発見に満ちている。

『新書版 ジェンダー 性差の日本史』

(G-128 国立歴史民俗博物館 監修
「性差の日本史」展示プロジェクト 編 集英社インターナショナル)

この本は、「2020年に国立歴史民俗博物館で開催された企画展「性差の日本史」をより手軽に観るために編纂されたものです。2000年に近い歴史をたどり、異なる時代の男女のあり方を比べることができます。

あすてっぷ第1回講座「大コメ騒動」は、女性の政治的権利が、まだ制限されていた時代に立ち上がった女性たちの社会運動がテーマです。100年以上経った今、制度の平等は勝ち取ったのに、多くの女性がジェンダーの葛藤を抱えているのではないのでしょうか。

日本社会で、ジェンダーはどのような意味を持ち、どう変化してきたのか？豊富な資料を通して、これらの問いについて考える1冊です。

観てから読もうか、読んでから観ようか・・・。

『新增補版 心の傷を癒すということ 大災害と心のケア』

(F-232 安克昌 著 作品社)

あすてっぷ第5回講座 映画「心の傷を癒すということ」の原作本。

精神科医である著者が、PTSD(心的外傷後ストレス障害)に苦しむ被災者の「心の叫び」と、自らも被災しながら取り組み続けた阪神大震災の被災地から届けられた感動の「心のカルテ」です。

1996年発行の旧版は「サントリー学芸賞」を受賞。今回の新增補版では、2000年に39歳で亡くなられた著者と関係の深かった方々の文章も収録されています。PTSDのバイブルであると同時に、安克昌さんご自身の生きざまにも触れられる1冊です。

書名	著者等	出版社等	分類番号	
常識を疑う心理学	(著) 太田仁, (著) 宮島健, (著) 林郷子, (著) 村上史郎, (著) 井村修, (編) 奈良大学	ナカニシヤ出版	J-1	137
平場の月	朝倉かすみ	光文社	H	57
老いの福袋 あっぱれ! ころばぬ先の知恵88	樋口恵子	中央公論新社	H	58
60歳からを楽しむ生き方 フランス人は「老い」を愛する	賀来弓月	文響社	H	59
手塚マンガの共生する社会 ★	手塚治虫、(解題) 野上暁	子どもの未来社	J-5	268
少女たちの戦争	(編) 中央公論新社	中央公論新社	J-5	269
70歳が老化の分かれ道	和田秀樹	詩想社	H	60

あらゆる差別や偏見、暴力を排し、
生命や人間の尊厳を織り込んだ珠玉の7編



『手塚マンガの共生する社会』

(J-5 268 手塚治虫 著 野上暁 解説 子どもの未来社)

(エッセイ: 田中裕子、伊是名夏子、雨宮処凛、中島京子、山極壽一、吉岡忍、前川喜平)

この本では、手塚治虫の珠玉の漫画のあとに、作品を読み解くエッセイが作品毎に掲載されています。

手塚治虫は少年期から思春期にかけて悲惨で強烈な戦争体験をしています。その体験が、手塚作品を貫く生命の尊厳と反戦平和思想に繋がり、反戦平和や人権の尊重、地球規模での自然環境の危機への警鐘、言論表現の自由、様々な差別や偏見をなくしたいという願いを込めた作品を多く残すことに繋がっているといわれます。

奥深い手塚作品を読んだ後に、エッセイを読んでいただくと、それぞれのエッセイから、あらゆる差別や偏見や暴力を排し、生命や人権の尊厳を織り込んだ手塚の未来に向けての願いや思いが様々な解読されていることにも触れられます。改めて手塚作品を読んでみませんか？



新着
DVD

『夕焼け』 テーマは「ケアラー ～だれもが人権尊重される社会を～」



主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、小学校時代の担任であり元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。(DVD35分)